

ちいき  
工業のさかな地域

## 1 日本の工業の中心，太平洋ベルト

工場がたくさん集まっていて工業がさかな地域は工業地域といい、そのなかでもとくに工業がさかな地域は工業地帯といいます。

日本では、工業のさかな地域は関東地方南部から九州地方北部にかけての海沿いに分布し、この一帯は太平洋ベルトとよばれています。

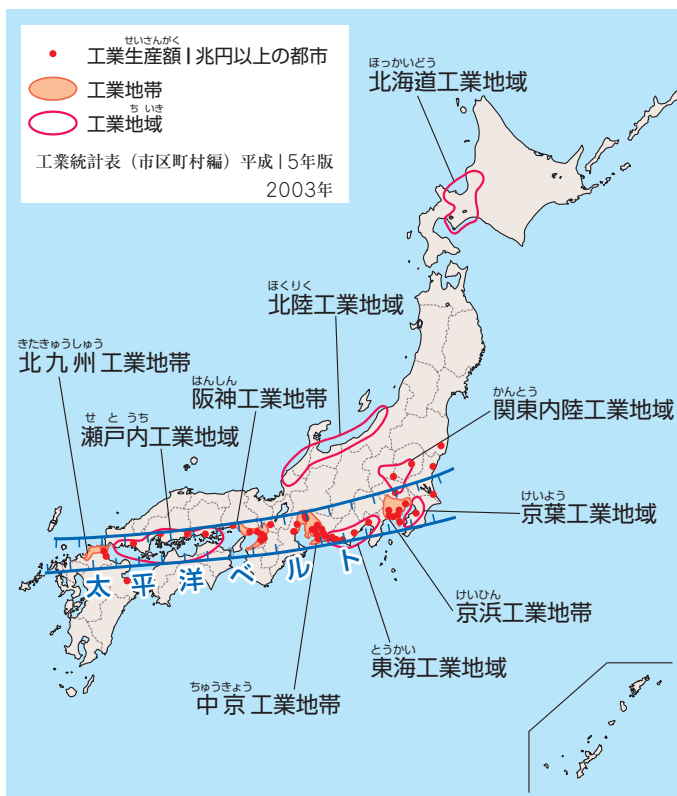
太平洋ベルトには人口や工場が集中し、大きな石油化学コンビナートや製鉄所も立地しています。



どうして海沿いに工場が集まるの？



海沿いには港があるから、重い原料や製品を運ぶのに便利なんだよ。それに、海をうめ立てれば工業用地にもなるからね。

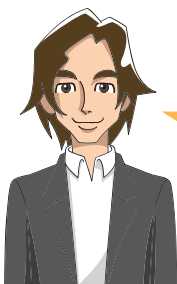


日本のおもな工業地域・工業地帯

参考

## 工業地帯・地域の名前

それぞれの工業地帯や工業地域は、地名をつけてよばれています。たとえば、東京や横浜を中心に発達した工業地帯は、東京の「京」と横浜の「浜」を1字ずつとって、「京浜工業地帯」とよばれています。



太平洋ベルトの工業地帯・工業地域で、日本全体の工業生産額の約60%を生産しているんだよ。

## 太平洋ベルトの工業地帯が発達した条件

- ①平野があり、工場用地と工業用水が確保できる。
- ②人口の多い大都市がある。
- ③陸上・海上の交通の便が良く、原料や製品の輸送に便利。
- ④エネルギー（電力・石油・石炭）が得やすい。
- ⑤気候が温暖な太平洋側に面している。



阪神工業地帯は、大阪市や神戸市を中心に栄えた工業地帯です。大阪の「阪」と神戸の「神」を1字ずつとって阪神工業地帯といいます。「阪神」は工業地帯に限った名前ではなく、プロ野球チームの名前にもなっています。

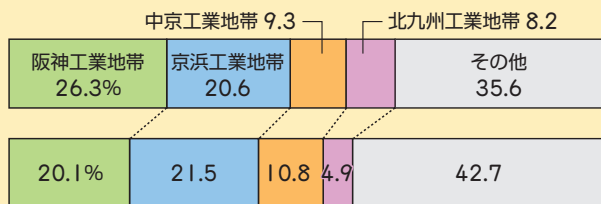
## 2 四大工業地帯から三大工業地帯へ

太平洋ベルトには、日本を代表する古くからの工業地帯があります。東京・横浜周辺の**京浜工業地帯**、名古屋周辺の**中京工業地帯**、大阪・神戸周辺の**阪神工業地帯**、九州地方北部の**北九州工業地帯**の四つです。第二次世界大戦前から工業が発達していたこれらの地域は、四大工業地帯とよばれます。

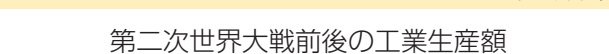
日本は、第二次世界大戦の敗戦から立ち直ると、四大工業地帯を中心に急速に重化学工業を発展させていきました。

現在は生産がのびなやむ北九州を除いて、京浜・中京・阪神が三大工業地帯とよばれるようになっています。

第二次世界大戦前（1935年）



第二次世界大戦後（1955年）



第二次世界大戦前後の工業生産額

第二次世界大戦前は阪神工業地帯が第1位だね。阪神工業地帯と中京工業地帯の割合を覚えておこう。あとでどうなったか、比べてみるよ。



## 3 工業地帯の生産額を見てみよう

### やってみよう①

右のグラフを見て、次の空らんにあてはまる言葉を書きこみ、会話を完成させましょう。



現在の日本の工業生産を見てみよう。いちばん生産額が多いのはどこかな？



阪神工業地帯じゃないわ。  
( ① )  
工業地帯がトップね。



その通り！ では日本ではどんな種類の工業がさかんなのかな？



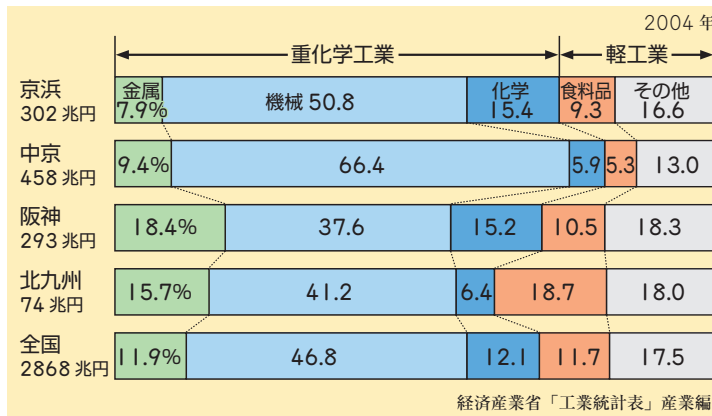
どの工業地帯でも、割合がいちばん大きいのは ( ② ) 工業だよ。



そうだね。では②の生産額の割合がいちばん大きいのはどこかな？



( ③ ) 工業地帯だね！



四大工業地帯と全国の工業生産額と内訳

答えは別冊答えと考え方



四大といういい方は、四大工業地帯以外にも四大宗教（キリスト教、イスラム教、仏教、ヒンドゥー教）など、いろいろな場面で使われています。